

12~14日

お大師さん準備着々と

4/4 慶賛会 竹灯籠づくり進む

12日から始まる延岡今山大師祭(お大師さん)を前に、今年も今山大師慶賛会(佐藤公昭会長)による竹灯籠づくりが、延岡市山下町の今山大師で進んでいる。



お大師さんを前に竹灯籠づくり(に忙しい慶賛会のメンバー(延岡市山下町の今山大師)

毎年、山頂駐車場から同大師に上る参道に約千個を設置しており、今年も同じ数を作る。祭り初日の12日から竹灯籠の温かな明かりが、周囲の雰囲気さらに厳かにするという。

作業しているのは同会監事の林幸之さん(79)と会員の後藤貞美さん(71)、高見正博さん(71)。林さんと後藤さんは毎年、竹灯籠づくりを主導するベテラン。高見さんも、この数年、製作を手伝いながらその技術を学んでいるという。

竹灯籠は、大きい物は高さ80センチ、標準サイズは45センチで、端材を使った小さい物も作る。今年の祭りのために用意した竹は約300本。今山の敷地内と、行藤の山中から切り出した太い

大御さんを盛り上げる。参加するデイズニーの仲間たちは、パレード用特別車両「ドリームクルーザーII」に乗り込んで出発する。スタート地点は、中町シンボルロードから中央通交差点、安賀多橋、安賀多2丁目停留所前ま

で。市中パレードは34団体約1700人が参加する

愛宕幼稚園など3団体は山下新天街南口を同一時10分ごろに出発、そのほか28団体は旭化成岡富地区工場を同一時半ごろに出発する。東京デイズニーリゾート・スペシャルパレードは安賀多町までの行進だが、それ以外は旭町のイオン延岡店までの約3キロを練り歩く。

葎(もろそう)竹で、

東京デイズニーリゾート スペシャルパレード

中町—安賀多町

14日のパレード 3カ所から出発

延岡

後藤さんと高見さんが抱えて作業台に乗せて切断していく。長さや角度を正確に設定しながらの作業で、細かな竹くすが舞う中で汗を流す。また大きな物には、林さんが電動ドリルを使って模様を入れる。ロウソク

の明かりが美しくなるよう考えて彫っているという。参拝に来てくれた人たちに「きれいで言ってもらえるのが、一番うれしい。みんなで心を一つにして作業しています」と林さん。

予定。今年は出発地点は3カ所。東京デイズニーリゾート・スペシャルパレードと延岡市スポーツ少年団、県吹奏楽連盟東北支部合同パレードの3団体は中町を午後1時ごろに出発。

平成最後の御陵祭

顕彰会 神楽など奉納

神話に登場するニギノミコトの御陵と伝わる延岡市北川町俵野の宮内庁指定「北川陵墓参考地」で3日、平成最後の御陵祭が行われた。主催は、地元住民でつくる俵野文化財顕彰会(夏田教義会長)。



約60人が参列した平成最後の御陵祭

満開の桜が花びらを散らす中、地元神社の井本盛実欄宜(ねぎ)による神事があり、御陵守部として管理を任されている児玉剛誠さん(76)など約60人が参列し、玉串をささげた。



西郷隆盛にちなんだ詩吟「城山」を披露する白坂さん(右)と横山さん

西郷隆盛にふんし勇ましく踊るJA延岡北川支部女性部 梅の実会



たごの意義は大きい」とあいさつした。同所は、昨年のNHK大河ドラマ「西郷(せご)どん」で注目を集めた西郷隆盛宿願跡資料館の裏



盛り上がった餅まき

手に位置し、ニギノミコトと西郷隆盛の一時空を超えた出会いの聖地」として知られるようになった。

神事後、地元の白坂佳恋さん(延岡星雲高2年)と横山美咲さん(延岡高1年)は、西郷隆盛にちなんだ詩吟「城山」を披露。JA延岡北川支部女性部「梅の実会」は西郷隆盛に扮(ふん)し、勇ましく踊った。川坂神楽保存会による神楽、和太鼓道場「巴(ともえ)塾」による演奏もあり、最後は餅まきで盛り上がった。

同祭は、毎年4月3日に行われており、数百年にわたって地元の人たちによって継承されている。夏田会長(右)は「深刻な少子化だが、何とか続けていきたい」と話した。